

高崎山 メンバーズ クラブ会報

2010.1

No.57

Takasakiyama
MEMBER'S CLUB
kaihou



B群アルファオスが「タイガー」に替わりました。詳しくは、次号にて

B群「ナベ」 (元C群第3位)のその後——

前号で紹介した、ナベのその後を紹介します。

11月になり正式に移籍した「ナベ」は周りのコザル等にも気を使い(移籍すると最下位に近い順位になります)、サル寄せ場の端っこで生活しています。

現在27歳(人間に換算すると85歳くらい)で下積み生活からやり直していますが、メスザルから毛づくろいを受けている姿をたびたび目にすることがあり、B群の仲間とは仲良くしているようです。

最近話題のサルということで新聞等に取り上げられ、C群在籍中より注目を浴びています。

B群での生活はまだまだ大変なようですが長生きをしてこれからもがんばって欲しいと見守っています。



サル物語

SARU MONOGATARI

ピア
ピア

C群、婦人会長(メス頭)の3女として生まれたピアピアですが、さすが権力者の娘という風貌で群れの中でも威張り散らしています。通りすがりのメスにいきなり咬みつき自己アピール!とても迷惑なサルです。あまり好きになれないサルです。

以前も、会報で紹介したとありますが、高崎山1番の「魔性の女」とも言われています。





個 体 数 調 査



毎年11月下旬から12月上旬の時期にかけてサル寄せ場に出現するB群・C群の2つの群れの個体数調査を実施しています。

今年もボランティアのみなさん21人と協力し11月30日から12月4日にかけて実施しました。

今回で39回目となるこの個体数調査ですが、サルの群れの社会構成も調べるためサルの年齢や性別を判定していきます。

ボランティアのみなさんには事前に高崎山へ来て研修を行ってもらい、調査へ参加していただきました。

このサルの年齢や性別の判定が大変なのですが、サルが山の中で待ち受ける調査員の目の前を通り過ぎるわずか10秒たらずの間で判定しなければなりません。

また今年はB群の動向が不安定だったため、調査員は数時間もの間、山の中で待つこともありました。年齢判定だけでなく寒い山の中で長時間サルを待たなければならないという苦勞を乗り越えてようやくできる調査です。

大変な調査ですが、毎年ボランティアに参加していただいている方もいます。きっとボランティアで参加していただいた皆様にも、この調査がいかに正確で意義のあるものなのかを理解していただけているのではと思います。

今回の結果は…

B群 526頭

C群 696頭

**総数
1,222頭**

大分市民無料の日



11月15日(日)に初めての試みとして大分市民のみなさまに無料で入園していただきました。2,465人の大分市民に入園していただき、ありがとうございました。

当日は、顔当てクイズや家族対抗クイズ大会・写真撮影会などを行い、特に家族対抗クイズ大会は、募集人数よりも多くの参加者が集まり、非常に盛り上がりました。

来年も大分市民無料の日を実施しますので、高崎山まで足を運んでください。



11月15日から、チャレンジコーナーに新しい装置が増えました。

3つのカラフルな箱がテーブルに並び、箱の上には穴が開いています。係員が1つの箱を選び、その穴の中に餌を入れます。もちろんサルはすぐに取ります。

ここからが肝心です！実は箱は動きます。餌を入れた後動かすのです。つまり入れた箱の色をサルが覚えているのかを実験する装置なのです。

みなさんにとっては簡単なことだと思われるかもしれませんが、実はサルにはできません。

上位のサルが、そのテーブルを独占してしまい全ての箱を覗き確実に餌を取ります。色を覚える必要がないのです。

新しく始めた「マジカルボックス？」お客様の前で成功する日は来るのでしょうか。

ちなみにサルは色の識別ができますよ!!



大分市内の小学生・中学生は入園料無料です。名札か生徒手帳を見せて入園して下さい。

ご意見・ご要望をおまちしています



国立公園

高崎山自然動物園

〒870-0802 大分市神崎3098-1

Tel.097-532-5010 Fax.097-536-2500

<http://www.takasakiyama.jp/>

info@takasakiyama.jp